

平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月10日

上場会社名 株式会社 ホーブ
 コード番号 1382 URL <http://www.hob.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 政場 秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 吉田 周史

TEL 0166-83-3555

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	3,118	17.7	99		93		102	
28年6月期第3四半期	3,790	12.1	19	71.5	26	62.6	30	

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 101百万円 (%) 28年6月期第3四半期 30百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	134.34	
28年6月期第3四半期	39.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	1,142	766	67.2	1,006.71
28年6月期	1,175	868	73.9	1,140.34

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 766百万円 28年6月期 868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		0.00	0.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,220		76		72		80		105.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 2 社 (社名) (株)ホープ21、(株)ジャパンポ
テト

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	762,000 株	28年6月期	762,000 株
29年6月期3Q	146 株	28年6月期	75 株
29年6月期3Q	761,878 株	28年6月期3Q	761,925 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に緩やかな回復傾向が見られましたが、アジア新興国の景気減速やイギリスのEU離脱問題等の国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」に加え、新品種「夏瑞／なつみずき」(品種登録申請名「ペチカほのか」)の販売を本格的に開始し、いちご果実及びその他青果物の販売拡大に努めてまいりました。

また、第2四半期より、当社の子会社であった株式会社ホープ21及び株式会社ジャパンポテトを吸収合併し、グループの経営資源の集約、業務の効率化を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,118,004千円(前年同期比17.7%減少)、営業損失99,312千円(前年同期は営業利益19,632千円)、経常損失93,727千円(前年同期は経常利益26,450千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は102,352千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30,353千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業の主力商品は業務用いちご果実であります。当第3四半期連結累計期間においては、夏秋期は自社品種である「ペチカプライム」「ペチカサンタ」と輸入いちごを、その後は国産促成いちご(とちおとめ、さがほのかなど)を主に販売しております。

主力となる自社品種においては、7月中下旬より出荷量が一時的に増加することを想定し、業務用だけでなく、加工用などの新たな販路の開拓を行うとともに、食味の良い新品種「夏瑞／なつみずき」(品種登録申請名「ペチカほのか」)を生食用として積極的に販売展開してまいりました。しかしながら、業務用の販売数量の減少と9月の自社品種の出荷数量の落ち込みによって、販売数量の抑制を余儀なくされました。さらに10,11月の出荷数量も9月の全国的な日照不足の影響で回復せず、売上高、利益ともに前年を下回りました。

最需要期となるクリスマス期におきましては、促成いちごの定植時期となる9月の極端な日照不足が株の初期生育に影響し、市場への入荷量が例年に比べ少なく、市場相場価格が高騰いたしました。取引先への販売価格の上昇により売上高は前年より増加しましたが、クリスマス以降も高値傾向は続き、固定価格での販売先に対する利益が大幅に減少いたしました。

年明け以降1～3月は販売数量が前年より微増いたしましたが、12月までの利益の落ち込みが累計期間の業績に大きく響く結果となりました。

その他青果物につきましては、取扱量の減少により、売上高、利益とも前年を下回ることとなりました。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は2,582,951千円(前年同期比1.2%減少)、営業損失は3,613千円(前年同期は営業利益50,882千円)となりました。

(種苗事業)

種苗事業は、自社いちご品種の「ペチカプライム」「ペチカサンタ」、新品種「ペチカほのか」の3品種に加えて、第2四半期より新品種「ペチカエバー」の種苗の生産販売が始まりました。自社品種の栽培方法には、秋に苗を定植し翌年から果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し果実を生産する春定植の概ね2体系の作型があります。その販売は、春定植用苗を中心としており、当第3四半期連結会計期間においては、秋定植用苗の販売を終え、春定植用苗の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、栽培休止や規模縮小に加えて、販売時期が4月以降にずれ込んだ影響もあり、自社品種の種苗販売本数は前年同期に比べて約8%減少いたしました。経費の圧縮に努めたことで営業利益は前年を上回ることとなりました。

この結果、種苗事業の売上高は30,328千円(前年同期比4.7%減少)、営業利益は5,393千円(前年同期比48.7%増加)となりました。

(馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなります。主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第3四半期連結会計期間におきましては、主に春作種馬鈴薯の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、昨年4月に発生した熊本地震の影響と、北海道において8月に4個の台風が上陸または接近した影響で、主な種馬鈴薯の仕入産地で生産量が減少し、種馬鈴薯の仕入が十分に行えなかったことで、売上高、利益ともに前年同期を下回ることとなりました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は439,619千円(前年同期比59.4%減少)、営業利益は2,857千円(前年同期比96.5%減少)となりました。

(運送事業)

運送事業は、株式会社エス・ロジスティクスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で当社の商品配送を中核としつつ、一般荷主からの配送業務受託を積極的に推進して売上増加を図ってまいりました。また、自社配送原価を抑制して、提携業者並びに共同配送業者を効率的かつ積極的に運用することで利益の確保に努めてまいりました。

この結果、運送事業の売上高は65,106千円(前年同期比3.3%増加)、営業利益は17,775千円(前年同期比23.6%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して72,019千円減少し、当第3四半期連結会計期間末で819,003千円となりました。これは売掛金が増加したものの現金及び預金が減少したことが主因であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して38,785千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で323,161千円となりました。これは有形固定資産が増加したことが主因であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して17,133千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で197,948千円となりました。これは買掛金が増加したことが主因であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して51,520千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で177,252千円となりました。これは長期借入金が増加したことが主因であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して101,887千円減少し、766,964千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の73.9%から67.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年2月6日の「平成29年6月期第2四半期決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,624	364,070
売掛金	278,674	346,643
たな卸資産	56,344	66,672
未収還付法人税等	1,482	3,505
その他	101,202	38,383
貸倒引当金	△306	△271
流動資産合計	891,022	819,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	108,947	108,387
機械装置及び運搬具(純額)	41,991	71,616
土地	70,111	70,111
その他(純額)	1,290	2,587
有形固定資産合計	222,341	252,703
無形固定資産		
のれん	20,950	18,855
その他	2,080	4,098
無形固定資産合計	23,030	22,953
投資その他の資産		
その他	40,430	48,930
貸倒引当金	△1,426	△1,426
投資その他の資産合計	39,003	47,504
固定資産合計	284,375	323,161
資産合計	1,175,398	1,142,164
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,746	124,445
1年内返済予定の長期借入金	—	13,008
未払法人税等	14,312	289
賞与引当金	1,767	6,311
その他	67,987	53,893
流動負債合計	180,814	197,948
固定負債		
長期借入金	—	51,992
退職給付に係る負債	41,083	36,305
役員退職慰労引当金	81,560	83,887
その他	3,088	5,067
固定負債合計	125,732	177,252
負債合計	306,546	375,200

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	15,834	△86,517
自己株式	△90	△166
株主資本合計	869,244	766,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△392	147
その他の包括利益累計額合計	△392	147
純資産合計	868,851	766,964
負債純資産合計	1,175,398	1,142,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,790,103	3,118,004
売上原価	3,144,475	2,629,188
売上総利益	645,627	488,816
販売費及び一般管理費	625,995	588,128
営業利益又は営業損失(△)	19,632	△99,312
営業外収益		
受取利息	598	471
受取配当金	—	12
貸倒引当金戻入額	3,548	35
受取保険金	—	2,350
その他	2,789	2,739
営業外収益合計	6,936	5,608
営業外費用		
支払利息	119	22
その他	—	0
営業外費用合計	119	22
経常利益又は経常損失(△)	26,450	△93,727
特別利益		
固定資産売却益	—	221
特別利益合計	—	221
特別損失		
固定資産売却損	—	25
固定資産除却損	4	1,578
特別損失合計	4	1,604
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	26,445	△95,110
法人税等	56,799	7,241
四半期純損失(△)	△30,353	△102,352
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,353	△102,352

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△30,353	△102,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△538	540
その他の包括利益合計	△538	540
四半期包括利益	△30,891	△101,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,891	△101,811
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間より、株式会社ホープ21及び株式会社ジャパンポテトは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	2,613,561	31,836	1,081,678	63,026	3,790,103	—	3,790,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	142,946	142,946	△142,946	—
計	2,613,561	31,836	1,081,678	205,972	3,933,049	△142,946	3,790,103
セグメント利益	50,882	3,626	81,309	14,378	150,196	△130,563	19,632

(注) 1. セグメント利益の調整額△130,563千円には、セグメント間取引消去249千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,812千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	2,582,951	30,328	439,619	65,106	3,118,004	—	3,118,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	153,954	153,954	△153,954	—
計	2,582,951	30,328	439,619	219,061	3,271,959	△153,954	3,118,004
セグメント利益又は損 失(△)	△3,613	5,393	2,857	17,775	22,413	△121,725	△99,312

(注) 1. セグメント利益の調整額△121,725千円には、セグメント間取引消去5千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,731千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

該当事項はありません。